

下越地区卓球大会に関する連絡事項

向暑のみぎり、卓球部顧問の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。各学校とも下越地区大会に向けて熱心に練習されていることと思います。

さて、先日行われました専門部会にて組み合わせ抽選を実施し、別紙のように決まりましたのでお知らせします。また、大会に関する連絡事項を記載しておきましたので事前に生徒への指導、保護者、外部指導者、業者等への連絡の徹底をお願いします。

1 送付文書

- (1) 下越地区卓球大会に関する連絡事項（本状）
- (2) 下越地区卓球大会団体戦組み合わせ、個人戦組み合わせ
- (3) 下越地区卓球大会タイムテーブル（事前に、表の見方を生徒に指導してください）
- (4) 下越地区卓球大会変更届

※下越地区卓球大会会場図は後日送信します。（6 / 2頃の予定）

2 競技規則（大会プログラム抜粋）

ルール

○現行の日本卓球ルールと本大会要項による。但し、促進ルールは適用しない。

試合球

○日本卓球協会公認球のニッタクプラ3スタープレミアムクリーン（40mm）を使用する。

選手

- 選手は、プレー領域では競技用服装でゼッケンを正しく着用する。
- ラケット、ラバーは正規のものを使用する。違反のものは使用できないので、ラケットは取り替え、ラバーは貼り替える必要がある。なお、ラバー破損の違反の判定は、内部に破損箇所がある。もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。
- ラバーを貼り替える必要が生じたときは、指定された場所で貼ること。
- 団体戦第一試合の選手のユニフォームは、原則としてチームで統一する。
- 選手は原則的に自分の試合が終了するまでプレー領域を出てはいけない。アドバイスを受ける場合はアドバイザーが移動する。

ゲーム

- 不正サービスと判断した時は、1回目はボールストップして注意し、2回目からはボールストップをかけ、審判長の判断をあおぐ。（その他に何かあった場合も、全て審判長に報告して判断を仰ぐ。）特に次の2点に注意。
 - ① 手のひらから16cm以上の高さにボールをほぼ垂直に上げ、最高点から落下する途中で打つ。
 - ② サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方になければならない。またその間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。さらにボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとネットの間の空間の外に出さなければならない。
- 1マッチに1回1分以内でタイムアウトをとることができる。タイムアウトを要求できるのは、団体戦では監督・競技者（アドバイザー・マネージャー・他の選手は不可）、個人戦では競技者・アドバイザーである。

- ゲームの進行を故意に妨げない。(タオルの使用、眼鏡ふき等は、6本ごと、ゲーム間の休憩は1分以内である。サービスをする前などに床に何回もボールをつかない。)
- 団体戦のアドバイスはベンチの誰から受けてもよい。個人戦のベンチに入るアドバイザーは1試合1名とする。アドバイスはゲーム間のみとし、ゲーム中は認められない。
- バッドマナーにとられる行動をしない。プレイングサーフェスに故意に触らない。(台で手汗を拭かない)
- 応援はバッドマナーにならないように注意する。
応援での鳴り物の使用は禁止する。ただし、うちわは使用してもよいことにする。

注意事項

- 日本卓球ルール及び大会要項の「競技上のルール及び注意事項」をよく読んでからご参加下さい。
- 団体戦や個人戦のベンチは番号の小さい方が本部に向かって左側。
- 団体戦の監督、アドバイザー等の変更は当日の代表者会議で申し出る。
- 審判の判定に対する抗議権は、団体戦は監督、個人戦は選手のみ。
- 個人戦では登録されたアドバイザーが、どの選手についてもよい。ただし、1マッチに1名で、試合途中でのアドバイザーの交代は認められない。例えば、生徒がすでにアドバイザーに入っていて、試合途中で監督が代わることはできない。複数の選手が試合をしていてすべてに同じアドバイザーが入ることも可能であるが、その場合他のアドバイザー席は空けておくことになる。
- 競技中のストロボ、フラッシュによる写真撮影は不可。保護者にも徹底しておく。
- ゼッケンは正規の大きさ(25×20cm)のもの又は日本卓球協会交付のものを着用する。
- 飲み物についてはお茶・スポーツドリンク・水のみ。缶・ビン・ジュース等の持ち込みは不可。飲み物をアリーナに持ちこむ場合は、スクイズボトル、ペットボトル等で持ち込む。こぼしたりぬらしたりした場合は、チーム・選手が責任を持ってふき取る。
- 監督、アドバイザー、マネージャーはコートに入るとき役員証をつける。
- 「下越地区大会参加における申し合わせ事項」を守る。

3 大会運営上の注意・競技上の注意 (競技規則の詳細)

ユニフォーム

- 大会各日における団体戦第1試合の競技用服装(ユニフォーム上)は、原則としてチームで統一してください。統一されていない場合は、何とかそろえられるよう、最大限の努力をお願いします。

用具

- ラケット・ラバーについては、顧問の先生の方で事前のラケットチェックをお願いします。用具について疑問がある場合は、遠慮なく審判長に聞いてください。

進行

- 競技はタイムテーブルにもとづいて進行します。(遅れたり早まったりすることもあります。)よく見て遅れずにコートに入ってください。

タイムアウト

- 今大会ではタイムアウト制を採用します。1マッチ(試合)に1回1分以内でタイムアウトを要求することができます。
- 団体戦では選手・組と監督の意見が違ふ場合、監督の申し出が優先されます。(例：選手・組がタイムアウトを申し出ても、監督がタイムアウトは必要ないとした場合、タイムアウトは取れません。)
- 個人戦では、選手とアドバイザーの意見が違ふ場合、選手の申し出が優先されます。

アドバイス

- 団体戦・個人戦とも試合中(ゲーム中)は、アドバイスは一切できません。腕やうちわ等を使って打球方向や球種などサインを出すことも禁じられています。技術的・戦術的なことに関するものはアドバイスとみなされます。中体連では選手を激励する応援は認めています。
- ギャラリーからのアドバイスは、いかなる場合も禁止です。

抗議権

- 団体戦では監督に、個人戦では選手に抗議権があります。アドバイザーに抗議権はありません。
- ルール解釈にかかわることは抗議できるが、審判のジャッジ（エッジボールかサイドかの判定など）に対しては原則抗議することはできません。特に生徒審判の場合、ルールにくわしくない場合があるので、教育的に紳士的に対応してください。問題が発生した場合は、すぐ審判長に裁定を求めてください。

汗拭き

- 得点合計が6の倍数の時、タオルを使用して汗を拭くことができます。それ以外のタオル使用は遅延行為になる場合があります。
- 眼鏡に付いた汗を拭きたい場合は、審判に要求する。眼鏡のみを拭く時間を認めます。
- 台（プレイングサーフェス）に汗が飛び散った場合、審判に要求し、台を拭いてもらう。或いは台備え付けの雑巾があるのでそれで拭く。審判は台の状況を常に確認する。

遅延行為

- 遅延行為が度重なれば失点になることがあります。
- 遅延行為とは、プレーできる状況なのにプレーしようとしないうちに、ボールを何度も床に突いたり、ゲーム間の休憩を、1分を超えて取ったりすることです。
- 不可抗力（自分に責任がない場合）以外のケガや痙攣で試合を中断することはできません。鼻血やケガからの出血の場合、止血の処置をしてすぐ試合を続けます。血液が台や床に付いた場合は、申し出てください。拭きとってから試合を再開します。不可抗力の場合、原則10分以内の中断を認めます。対戦相手が不利にならないように練習を認めます。

サーブ

- サーブの仕方について、ルール違反にならないよう、次のような点を選手に指導してください。
「手の平を広げる」「一旦静止する」「打球するまでボールは台（プレイングサーフェス）より上」
「16cm以上ほぼ垂直に投げ上げる」「エンドラインより後方で打球する」「打球を相手や審判に隠さず見せる」

その他

- 団体戦や個人戦のベンチは番号の小さいチームが本部に向かって左側です。
- 団体戦の監督、アドバイザー等の変更は当日の代表者会議で申し出てください。
- 5ゲーム目、うっかりチェンジエンドを忘れてしまう選手がいます。事前にご指導下さい。
- 卒業アルバム用等の写真を撮るための業者が会場に来る場合、腕章や身分を表わすネームプレート等を身に付けるように事前に連絡してください。また撮影は、2階ギャラリーから撮るように、**アルバム業者、引率等の職員**にも徹底してください。
- 会場に張り出す幕・旗はチームで1つとしてください。
- 応援は後ろで観戦している人の妨げにならないよう、最前列ではしゃがむ等の配慮をお願いします。
- 会場図で線で囲んだ区域が、1・3日目のおおよその各チームの場所です。**基本ブロック1つに3人掛けをお願いします。**ほぼ全員が座れるよう、割り振っています。荷物を座席の下に入れるなどの配慮も合わせてお願いします。2日目は、空いている席は有効に使っていただいて結構です。
- 団体戦に出場する佐渡地区の学校は、6/19（木）の前日準備ができ次第、会場で練習が可能です。（16:30～の予定）個人戦のみに出場する佐渡地区の学校は、大会2日目に会場で練習が可能です。（14:00～16:20 空きコートを実験コートとして開放）
- 役員章は下表の通りです。大会当日、参加校あて封筒に必要数入れておきます。足りない場合は申し出てください。

総務	下越中体連卓球専門委員	大会で不明な点等がありましたら声をかけてください。
監督	団体戦の監督	試合でベンチに入る際は必ず身に付けてください。 返却の必要はありません。
アドバイザー	団体戦のアドバイザー	
マネージャー	団体戦のマネージャー	
アドバイザー	個人戦のアドバイザー	

4 会場使用上の注意

- ・開館は3日間とも午前8時です。
- ・外履きは袋等に入れギャラリーへ持って行ってください。
- ・当日、生徒の自動販売機の使用は禁止です。
- ・トイレ使用のマナーには十分注意してください。(ハンカチ・タオルを持参して用を足す)
- ・ごみは必ず持ち帰ってください。
- ・駐車場では、バスの長時間のアイドリングはご遠慮ください。運転手さんにも事前にご連絡ください。
- ・飲み物についてはお茶・スポーツドリンク・水のみです。缶ジュース等の持ち込みは不可です。水滴が垂れないようにボトルにタオルをまくなどの工夫をしてください。万一こぼした場合は責任をもって拭きとってください。

5 県大会の申し込み

- ・県大会には団体男女各3チーム、個人男女各16名が進出します。県大会の申し込みは**6月21日(土)**です。以下の物を忘れずにご持参下さい。
 - ① 県大会申込書 (職印を押したもの)
 - ② 県大会参加費 (補員を含む選手一人当たり 1000円)
 - ③ 参加費の納付書 (顧問の印が必要)
 - ④ 宿泊申込書 (宿泊を希望する学校)
 - ⑤ 指導者承認書等 (必要な学校)

6 公式練習割り当て

◎第1日目 (各15分) 男子 8:30～ 8:45

コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
学校名	村上第一	村上東	村上中等	荒川	神林	朝日	山北	関川	聖籠	中条	築地	黒川
コート	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
学校名	水原	安田	本丸	新発田第一	猿橋	新発田東	新発田川東	七葉	紫雲寺	加治川	五泉	玉泉北
コート	25	26	27	28	29	30	31	32	※粟島浦は			
学校名	玉泉川東	村松桜	三川	阿賀津川					団体戦の合間に練習			

女子 8:45～ 9:00

コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
学校名	村上第一		村上中等	荒川	神林	朝日		関川	聖籠	中条	築地	黒川
コート	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
学校名	水原	安田	本丸	新発田第一	猿橋	新発田東	新発田川東	七葉	紫雲寺		五泉	玉泉北
コート	25	26	27	28	29	30	31	32	※女子が1人の場合は、			
学校名	玉泉川東	村松桜	三川						男子と練習してよい。			

◎第2日目 (30分) 男女とも 8:30～ 9:00

コート	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
学校名	男 a 1	男 b 1	男 c 1	男 d 1	男 e 1	男 f 1	男 g 1	男 h 1				
コート	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
学校名	男佐渡1	男佐渡2	女 a 1	女 b 1	女 c 1	女 d 1	女 e 1	女 f 1				
コート	25	26	27	28	29	30	31	32				
学校名	女決定戦勝ち	女佐渡										

◎第3日目 (30分) 男女とも 8:20～ 8:50

コート	1～16
学校名	男子個人出場校
コート	17～32
学校名	女子個人出場校

7 団体戦・個人戦の進行について

1 団体戦

- ① 予選リーグの2～3試合分を初めに配付します。オーダー用紙は1試合につき、2枚お書きください。**リーグ戦の表で上の方のチームが左に、リーグ戦の表で下の方のチームが右に記入**してください。その際、**選手氏名はフルネーム**をお願いします。
- ② 1枚をチームの控えにして、もう1枚を試合前あいさつ時に互いに交換します。
- ③ 準決勝リーグと決勝リーグ分は、進出したチームが進行席まで取りに来て下さい。
- ④ 各試合のオーダー用紙は、試合開始時刻までに準備してください。
- ⑤ 試合終了後、勝ったチームは記録を整理して、**対戦相手校監督に確認してもらった上で互いにサインし**、1枚を進行席まで提出してください。

2 個人戦

- ① 勝った選手は速やかに進行席に報告をお願いします。その際、「トーナメント番号」「氏名」「対戦相手」「ゲームカウント(3-0、3-1など)」をはっきりと報告してください。
- ② 負けた選手は敗者審判です。次の試合の審判をしてから応援席に戻ってください。

3 審判について

- ① 団体戦の審判は対戦校同士で出してください。
- ② 個人戦の各コート第1試合の審判は進行で指名します。それ以降は敗者審判です。

8 その他

- ・3日間とも中学生、応援保護者とも来場規制はなし。
- ・ギャラリーはおおよそその座席指定をする。応援は指定された応援席から行き、ギャラリーの座席移動はしない。また**保護者はそれぞれの中学校に割り当てられた席で応援する。**
- ・マスクの着用は個人の判断に任せる。
- ・試合前のラケット交換は相手に渡さず、**お互いに確実に見せ合う。**5秒程度の後、裏返す。
- ・試合後は「握手」か「ラケットタッチ」もしくは「お互い視線を合わせて会釈」することで、試合相手へのリスペクトを表現する(相手がいるから試合ができる)。
- ・ベンチでは水分補給可。栄養補助食品はギャラリーでとる。

◎以上です。不明の点がありましたら聖籠中学校、羽貝までご連絡下さい。TEL 0254-27-7080